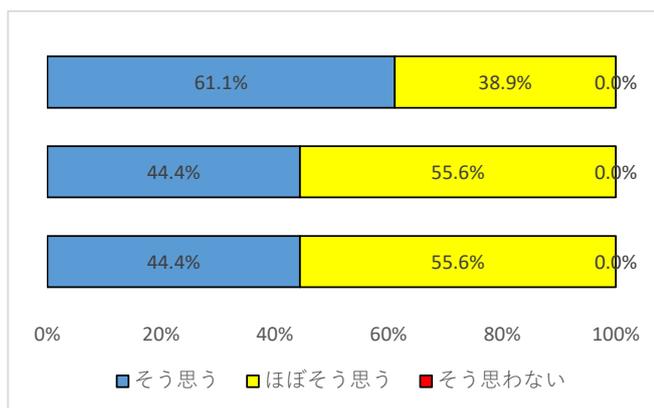


# 令和6年度学校評価中間アンケート（教職員）

## 1 特別活動

- |  |
|--|
| ① 教職員共通理解のもと「岩成っ子タイム（SST・SGE）」が実施されている。（教職員研修・ミニ研修等）                 |
| ② 「岩成っ子タイム（SST・SGE）」で児童のコミュニケーション力が育まれるよう活動のめあて、展開、振り返りを工夫している。      |
| ③ 異学年交流の機会を積極的に設けることにより、児童同士の人間関係づくりに効果が見られる。（思いやり、リーダーシップ、フォローアップ等） |

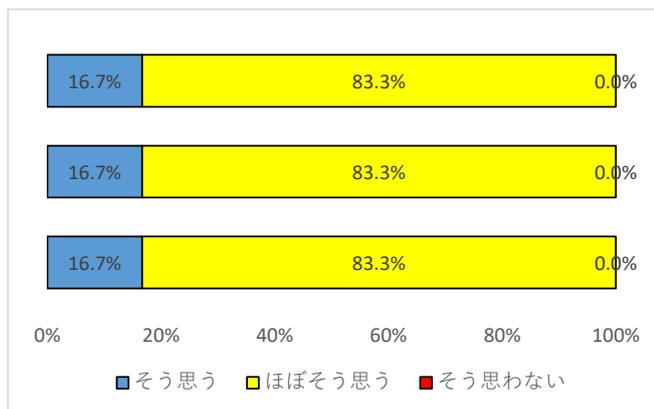


### <今後の取組に向けて>

- 1-①  
・今後も岩成っ子タイムを継続して取り組んでいくことが重要である。現在、教員も児童も取組への基盤が整った段階にあるため、今後はさらに校内研修を充実させ、他校の実践を参考にしながら、自校の課題や改善点を見つけ、より効果的な活動へと発展させていく必要がある。
- 1-②  
岩成っ子タイムの内容は、より効果的になるよう精選していく必要がある。また、同じ内容を連続して行うのが適切か、それとも学期に一度程度がよいのかなどについても目の前の児童の実態を考慮し検討しながら実践していくことが必要である。
- 1-③  
・なかよし班活動では、各学年の児童がより明確に役割意識がもてるように工夫改善して行うことが必要である。  
・異学年交流時には、児童同士だけでなく、担当教員が積極的に児童と関わって指導支援を行うことで、児童同士や児童と教師との間でより良好な人間関係が築けると考える。

## 2 学習活動

- |   |
|---|
| ① 教員同士で、学び合いながら授業改善に取り組んでいる。                                    |
| ② 一人一台端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っている。（キュビナ、ジャムボード、フォーム等） |
| ③ 児童の思考力・表現力を育てるために、自力解決の場と学び合いの場が相互に機能し合う授業展開を工夫している。          |



### <今後の取組に向けて>

- 2-①  
・一人一授業公開を現職教育の一環として行っているが、それに加え、教員同士が日常的に互いの授業を見合い、さらなる授業力の向上を目指すことを行うとよい。  
・公開授業者がクラスルームなどで授業のねらいや意図などを共有したり、簡易的な授業の研究協議会を行ったりすることで、より一層授業改善ができるのではと感じる。  
・1学期の研究授業の検討が不十分であったため、授業の深まりや教員のスキルアップにあまり繋がらなかったと感じている。今後は、学年や低・中・高学年ごとに指導案を検討したり、授業後の協議会の在り方を工夫したりすることが有効であると考えます。
- 2-②  
・教員一人一人が授業での効果的な端末活用について今後も学び続けていく必要がある。  
・先進校の公開授業を視察し、学んだことを共有する機会を確保することで、教員一人一人の授業改善に生かしていきたいと考える。
- 2-③  
・単元を通じて児童に何ができるようになるかを授業者が明確にもち、それに基づいて授業計画を立てて展開していくことを継続して行っていきたい。また、単元の最後に取り組むパフォーマンス課題を効果的に設定し、児童が思考する機会を意図的に組み込むことで、思考力・表現力の向上を図っていきたい。

### 3 道徳教育

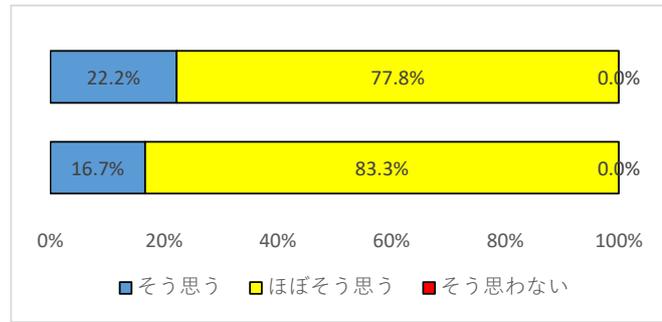
① 「考える道徳」「議論する道徳」の授業が展開できている。（発問の工夫、師範授業や研究授業での研鑽）

② 道徳の時間で学んだことを児童が実践できるようにしている。（朱書きや声かけなどのフィードバック、児童の現状に合った授業展開等）

<今後の取組に向けて>

#### 3-②

・今後も目の前の児童の実態に合わせた道徳の重点目標を意識し、ねらいをもって道徳の授業展開を進めていきたい。



### 4 学級経営

① 一人一人の個性の理解ときめ細かな情報交流を通して、児童の成長を支援するための合理的配慮を行いつつ、心に寄り添った指導に努めている。（関係機関との連携、保護者との情報共有、個別の支援、指導計画を通じた支援・指導の充実等）

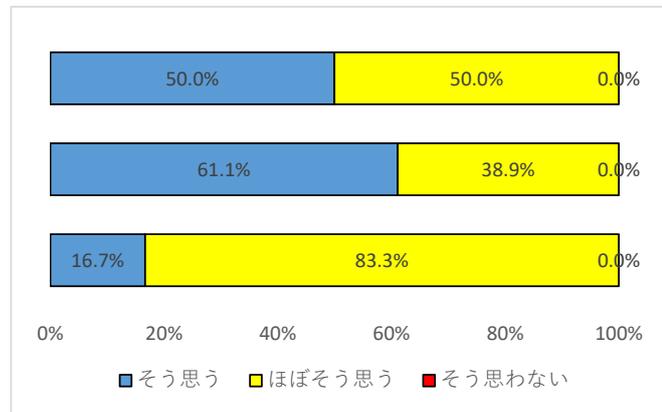
② ユニバーサルデザインを取り入れた学級づくりに努めている。（仲間意識を育成するための言葉がけ、SST・SGE、教室の掲示物の精選、個人の学びやすさを生かした座席等）

③ 児童の些細な変化などを見逃さないように、心の天気など客観的な資料をもとに早期発見・早期対応に努めている。

<今後の取組に向けて>

#### 4-①

・個別の支援計画や指導計画が児童の実態に即し、今後もより一層効果的に活用する必要がある。また、児童との関わり方や保護者との連携、学級経営、学習指導については、担任一人で抱え込まず、組織全体で対応していくことを今後も進めていきたい。



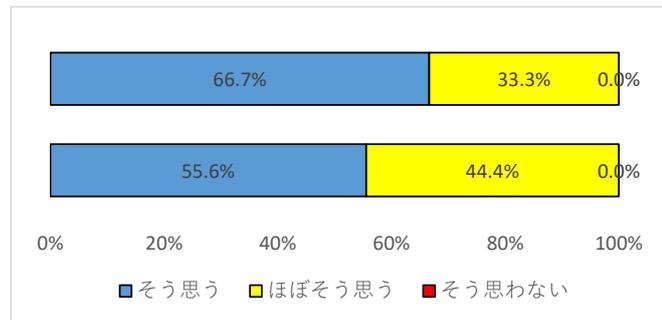
### 5 健康安全

① 児童の健康を守るための研修を行い、予防策と緊急時の対応に努めている。

② 児童の安全を守るための防犯・防災対策、施設の安全管理などを適切に行っている。

<今後の取組に向けて>

・今後実践を積み重ねながら、よりよい改善策を提案していきたい。  
・給食の喫食前のチェックを継続的に行い、食物アレルギー事故の防止に努めていく。



### 6 開かれた学校づくり

○ 保護者や地域に、学校の様子や教育情報を分かりやすく発信している。

<今後の取組に向けて>

・一部の教員によるホームページの配信だけでなく、ホームページをより充実させるために、学年行事や分掌行事などを多くの教員がアップできるようになるとよい。

